

H28.7.20

年金シニアプラン総合研究機構 審議役 下島 敦

1. はじめに

我が国の公的年金制度は、法令に基づき少なくとも5年に一度、財政検証若しくは財政再計算と呼ばれる財政計算が行われ、将来にわたる年金財政の均衡が図られるよう、給付水準の見通し若しくは保険料（率）の見直しが行われている¹。例えば、厚生年金の場合、平成16年改正財政フレームに基づき5年毎に財政検証が行われ、将来の固定された保険料率を前提として、直近の社会・経済情勢を踏まえ、概ね100年間²で財政の均衡が図られるよう、マクロ経済スライドと呼ばれる給付水準調整の終了年度及び将来の給付水準の見通しが作成されている。

一方、厚生労働省社会保障審議会年金数理部会は、平成13年3月16日の閣議決定「公的年金制度の一元化の推進について」の要請により、専門的、第三者的な立場から、被用者年金制度の安定性、公平性の確保に関し、各制度の財政検証・財政再計算時に係る検証（ピアレビュー）及び各制度の毎年度の決算報告に基づく検証を行っている。直近のピアレビューは、平成26年財政検証・財政再計算について行われ、その結果の報告書「平成26年財政検証・財政再計算に基づく公的年金制度の財政検証（ピアレビュー）」（以下、「26年ピアレビュー」という。）が本年（平成28年）2月に取りまとめられ公表された。また、決算報告に基づく検証については、平成26年度決算について、本年5月に上記部会による各制度からのヒアリングが行われ、現在、上記部会事務局において各種分析及び検証結果の報告書案作成等の作業が鋭意行われている。

筆者は、平成27年10月より本年6月半ばまで上記部会の事務局に在籍していたが、実は、毎年度の決算報告に基づく上記部会によるこれまでの検証手法は、必ずしも十分ではないのではないか、という問題意識を持っていた。そこで、以下、上記部会の従来の検証手法に係る筆者の問題意識を述べ、当該手法の一改善案を紹介したい。

2. 年金数理部会による決算報告に基づくこれまでの検証手法

年金数理部会による毎年度の決算報告に基づく検証のうち最も重要な部分は、財政検証・財政再計算による各制度の当初財政見通しと、決算に基づく実績との乖離による財政影響分析である。実績が当初見通しから乖離してくることが各制度の財政状況にどのように影響を及ぼしているかについて分析・評価し、これを示すことは、上記部会に求められる最も重要な

¹ 従来は、全ての公的年金制度において保険料（率）を計算し直す財政再計算が行われていたが、平成16年制度改正により、厚生年金及び国民年金では、将来の保険料（率）を固定し、財政が均衡するよう将来の給付に係るマクロ経済スライド調整の終了年度及び給付水準の見通しを推計し直すいわゆる財政検証の仕組みが導入された。なお、平成27年の被用者年金の一元化に伴い、共済年金の1、2階部分に係る財政再計算も廃止された。

² 実際の運用上は96年間となっている。

役割の一つであると筆者は考える。

ところで、決算報告に基づく各制度の財政状況のこれまでの検証は、主に積立金の水準の見通しと実績との乖離分析により行われてきた。その考え方及び手法は次のようなものである。

《年金数理部会における決算報告に基づく財政状況のこれまでの検証の考え方及び手法》

- ・将来の保険料収入と給付費が完全に賃金上昇率に連動するとすれば、積立金の実績の当初見通しからの乖離も賃金上昇率の乖離と同率ならば、年金財政の均衡は保たれる。
- ・実際には、既裁定者の給付は既裁定物価スライド制により賃金上昇率に連動しない部分があるので、当該部分は物価上昇率の見通しと実績との乖離による変動に置き換えてみる必要がある。
- ・したがって、財政検証・財政再計算による将来見通しに賃金上昇率の乖離を単純に反映させた場合の積立金の推計額に、既裁定者の給付について賃金上昇率の乖離を物価上昇率乖離に置き換えたときに生じる将来の給付費の差の一時金相当額（給付現価、マイナスの場合あり）を加えた額を「評価の基準となる積立金額」とし、これと実績の積立金とを比較することにより、財政状況がどのように変動したかを評価する。

つまり、我が国における公的年金の給付費は、原則的に賃金上昇率に連動して改定される仕組みであるので、将来の保険料収入及び積立金が将来の給付費と財政均衡している状況において、それぞれの実績値が賃金上昇率の乖離分だけ見通しから平行に乖離変動しても、財政の均衡は保たれる。ただし、既裁定者は物価スライド制に基づくが、物価上昇率も賃金上昇率と平行に乖離していれば財政は均衡するし、平行でなくてもその差分の給付費の一時金相当額を積立金に上乘せするか減じてやれば、やはり財政は均衡する。このように、賃金上昇率の実績が当初見通しから乖離した場合にも財政が均衡する「評価の基準となる積立金額」なるものを算定し、これと実際の積立金の実績値とを比較して、実績が当該基準額を上回れば財政の改善、下回れば財政の悪化、と見なすことができる、という考え方である。これは、いわばスプレッド（名目運用利回りと名目賃金上昇率の差である実質的な運用利回り）の実績が見通しの前提に比べ上回ったかどうかの主眼を置いた分析であるとみることができる。

平成 25 年度の決算報告に基づく上記部会の財政状況の評価結果は図表 1 のとおりである。

図表 1 平成 25 年度末における財政状況の評価
【評価の基準となる積立金額を 100 とした場合】

	厚生年金	国共済+地共済	国共済	地共済	私学共済
年度末の積立金(実績)	111.5	111.5	103.5	113.2	115.6

出所：社会保障審議会年金数理部会「公的年金財政状況報告－平成 25 年度－」

これによれば、平成 25 年度においては、全ての被用者年金制度で積立金の実績が「評価の基準となる積立金額」を上回り、実績の財政状況は見通しより改善している、という評価となっている。

しかしながら、近年続いてきたデフレ状況下では、以下のような理由により必ずしも将来の保険料収入と給付費は連動しておらず、上記の考え方の前提が成り立たなくなっている。

《保険料収入と給付費が連動しなくなっている主な要因》

- ・ 現行制度における年金額改定の仕組みでは、例えば、賃金上昇率及び物価上昇率が共に負（マイナス）であり、その絶対値でみたとき賃金上昇率の方が大きい場合（つまり賃金の下げ幅が物価の下げ幅より大きい場合）、保険料収入は賃金低下の影響を直接受けるが、給付費の改定率は物価の低下分にとどまる。
- ・ マクロ経済スライドは、本来の賃金及び物価による改定率がマイナスの場合には発動されない等の制約条件により、これまで平成 27 年度に一度発動されただけである。このように、当初将来見通しにおいて見込まれていたマクロ経済スライド調整が予定通り行われてこなかったことにより、保険料収入に比べ給付費が見通しから相対的に増大してきている。

実際、厚生年金では、これまで財政検証が実施される度に、足元の所得代替率が上昇するという現象が起きている³。このように、保険料収入に比べ相対的に給付費が膨らんできている以上、本来の理想的な制度の仮定に基づいて積立金の評価のみを行う手法では、年金財政そのものを検証するには不十分であり、もう一度、年金制度の財政均衡の考え方に立ち返って、実績が明らかになる毎にその財政均衡の状況変化を確認していく必要があると考える。

3. 決算報告に基づく検証の手法の改善案

以下、厚生年金の平成 25 年度決算を例にして述べる。したがって、比較対象は平成 21 年財政検証の財政見通しということになる。現在既に平成 26 年度決算及び同 26 年財政検証が公表されているにもかかわらず、ここで平成 25 年度決算及び同 21 年財政検証を取り上げる理由は、平成 25 年度決算は既に年金数理部会の検証結果の報告書が取りまとめられており、実績も 5 年分蓄積されているので、検証手法の比較・検討が十分可能となり課題が明確になるからである。平成 26 年度決算と同 26 年財政検証を比較しても、乖離が小さいため、ここで課題が明らかにならない。

平成 21 年財政検証（以下では基本ケースを対象とする。）における厚生年金の財政均衡の状況は、厚生労働省によって図表 2 のように示されている。⁴

³ 厚生年金の標準的な年金の平成 27 年度における所得代替率は、平成 16 年財政再計算では 53.5%であったが、平成 21 年財政検証では 59.3%、平成 26 年財政検証では 62.0%と上昇してきている。

⁴ 厚生労働省の財政検証では、図表 2 の他に賃金上昇率により換算したものも示されているが、積立金との関係を見る上では運用利回りによる換算が便利である、とされている。ここでは積立金を含めた全体の財政均衡（バランス）の状況変化を分析していく必要上、運用利回りにより換算したものをを用いる。

図表 2 厚生年金の財源と給付の内訳（運用利回りによる換算）
—平成 21 年財政検証、基本ケース—

財 源		給 付
合計 1,660 兆円		合計 1,660 兆円
保険料 1,190 兆円	=	
積立金から得られる財源 140 兆円		
国庫負担 330 兆円		

平成 21 年度末

(注) 長期的な経済前提は次の通り。
賃金上昇率 2.5%
物価上昇率 1.0%
運用利回り 4.1%

出所：厚生労働省年金局数理課「平成 21 年財政検証結果レポート」

これは、文末の参考資料 1 にある財政見通しについて、財源である将来の保険料収入、積立金から得られる財源及び国庫負担の合計と将来の給付とが、参考資料 2 にある将来の運用利回りの前提を用いて計算された平成 21 年度末時点での現価ベースで一致していることを示しており、一種のバランスシートをなしている。

なお、積立金から得られる財源は、財政見通しにおける運用収入を除いた収支残の現価として求められ（筆者の計算では 0.1 兆円単位では 141.2 兆円）、これに財政均衡期間の最終年度である 2105 年度末積立金 132.4 兆円を運用利回りで平成 21 年度末現価に換算した 3.2 兆円を合算すると、平成 21 年度末時点における積立金 144.4 兆円と完全に一致することがわかる。また、給付には基礎年金拠出金の費用も含まれる。

年金数理部会による毎年度の決算報告に基づく財政状況の検証においては、図表 2 の基となる平成 21 年財政検証の財政見通し（参考資料 1）に決算の実績値を順次反映して当該財政見通し及びバランスシートを作成し直すことにより、年金財政の均衡状況がどのように変動するかを確認する手法を是非導入すべきである、というのが筆者の考えである。

実績を反映した年金財政のバランスシートを計算し直すには、参考資料 1 の財政見通しのうち保険料収入、国庫負担、その他収入、給付費、基礎年金拠出金及びその他支出の各項目について、実績が出ている年度（ここでは平成 25 年度まで）の数値を実績に置き換え、それ以降の年度を推計し直す必要があるが、ここでは次のように推計した。

《実績を反映した収支項目の推計方法》

- ・置き換える平成 25 年度までの実績値は、厚生労働省が年金数理部会に毎年報告している実績推計⁵を用いる。ただし、実績推計では収入のその他に国庫負担が含まれているので、国庫負担は収支状況から拾い、差額をその他収入とする。
 - ・平成 26 年度以降は、保険料収入、国庫負担、給付費及び基礎年金拠出金については、人数の伸びや経済の伸びが財政検証の前提のまま続くものとして、オリジナルの財政見直しにおける項目毎、年度毎の伸び率をそのまま用いて推計する。ただし、給付費は、平成 25 年度における被保険者数の実績と見通しとの乖離がそれ以降の給付費に徐々に影響してくると考えられるので、更に翌 26 年度から 45 年間かけ線形的に当該乖離分の補正を行う⁶。その他収入及びその他支出は、額が小さいのでオリジナルの数値のままとする。
 - ・現価の計算に用いる運用利回りも、平成 25 年度までは実績値（時価ベース）に置き換える。
- (将来見通しと実績との諸数値の比較は文末の参考資料 4 を参照。)

上記の方法により、平成 25 年度までの足元の実績を反映して推計し直したバランスシートが図表 3 である。

図表 3 厚生年金の財源と給付の内訳（運用利回りによる換算）
—平成 21 年財政検証、基本ケース、平成 25 年度までの実績反映後—

財 源	給 付
合計 1,410 兆円	合計 1,470 兆円
保険料 960 兆円	<
積立金 150 兆円	
国庫負担 310 兆円	

平成 21 年度末

- (注) 長期的な経済前提は次の通り。
- | | |
|-------|------|
| 賃金上昇率 | 2.5% |
| 物価上昇率 | 1.0% |
| 運用利回り | 4.1% |

出所：筆者推計

⁵ 厚生年金基金の代行部分等、厚生年金の決算と財政検証とで取り扱いが異なる事項について、実績が財政検証と比較可能となるよう、実績値を補正したもの。

⁶ 20 歳の被保険者が 65 歳で老齢年金を受給し始めるまでに 45 年かかるため。

図表3から、平成21年度末の一時金換算で60兆円ほど給付が財源を上回り、財源不足の状況となっていたことがわかる⁷。つまり、図表1にある従来の積立金のみによる評価とは逆に、全体の財政状況は悪化していることになる。この要因としては、見通しと実績との乖離において、当初見込まれていたマクロ経済スライドがこの間一度も発動しなかったこと等により、給付費の実績が保険料ほど減少しなかったことによるところが大きい⁸。なお、財源不足となるため、図表3では平成21年度末積立金（実績推計（時価ベース）148.7兆円）を全て財源に充当する形で表すこととし、これを「積立金」と表記している。

更に、このときの財政見通しを試算してみると、文末の参考資料3のようになる。

当該財政見通しを作成するには、バランスシートの作成に必要な収支項目以外に、運用収入及び積立金を推計し直さなければならない。運用収入は、ここでは、

$$\text{前年度末積立金} \times \text{運用利回り} + \text{運用収入以外の収支差} \times \{(1 + \text{運用利回り})^{\wedge} 0.5 - 1\}$$

（注：[^]は累乗）

により計算している。実は、筆者が確認したところ、この計算式では、参考資料1のオリジナルの財政見通しにおいて2040年度以前の運用収入を完全に再現することができなかった。これは、おそらく、その他の収支の細目によっては、前式と異なる付利の方法を用いているからだと思われる。しかし、大勢には影響がないので、ここでは、この式で計算することにした。積立金は前年度末積立金に運用収入を含む当該年度収支差を加えて求められる。

このようにして推計された参考資料3の財政見通しをみると、2070年度（平成82年度）に積立金が枯渇する見通しとなることがわかる。

なお、今回示した平成25年度決算結果に基づく財政影響の検証結果は、平成21～25年度の実績による影響の累積であり、次の平成26年財政検証の傾向を予測させるものであるはずであるが、実際の平成26年財政検証結果では厚生年金の財政が持ち直しているようにも見受けられる。しかし、これについては、年金数理部会が26年ピアレビューにおいて指摘したように、被用者年金一元化により厚生年金の財政が改善した、という特殊事情があったことを忘れてはならない⁹。一方で、今回は平成25年度決算時点における財政状況のみを示したが、経済の動向は年度毎に異なるので、各単年度毎の実績による財政影響は当然異なっており、各決算時点での財政状況は毎年度変動する。更に、マクロ経済スライドの仕組みや厚生年金の適用範囲の見直しの動きも出てきており、今後はこういった制度改正の影響も出てくる可能性がある。したがって、決算結果に基づく年金財政の動向は、毎年度継続的に見ていくことが大切である。

⁷ 全体的に現価が図表2より小さくなっているのは、保険料、給付費共に足元の実績が将来見通しを下回ったこと（注釈8参照）、及び実績の運用利回りが見通しより一般的に高かったため現価計算に用いる割引率も大きくなったことによる。

⁸ 平成25年度では、給付費は見通し25.3兆円、実績24.1兆円（△4.7%）であるのに対し、保険料は見通し28.9兆円、実績25.8兆円（△10.7%）である。減少率の差が6%ポイント程度でも現価の額への影響は大きくなるので注意が必要である。

⁹ 26年ピアレビューにおける分析結果によれば、被用者年金一元化なかりせば、マクロ経済スライド調整期間を見直さない前提では、A～Gの全てのケースで厚生年金の積立金は途中で枯渇する。

4. おわりに

以上は、年金数理部会が行う毎年度の決算報告に基づく検証を念頭に、厚生労働省が公表している資料及びデータを用いた試算に基づく当該検証の一改善案を提示したものである。勿論、上記部会が更に詳しいデータを各制度に求めることができれば、もっと精緻な検証が可能となるかもしれない。また、ここでは厚生年金の場合のみを示したが、他の各共済年金や被用者年金の財政に深く影響する国民年金の財政状況の検証も同様にして行うことができる。今後、決算年度が進み比較対象が26年財政検証の将来見通しに切り替わり、また、一元化後の新厚生年金の財政状況が上記部会の検証の対象となっていく中において、上記部会における決算報告に基づく財政状況の検証手法が順次改善されることを期待したい。

一方、上記部会の26年ピアレビューでは、年金財政の変動要因分析の必要性に係る提言がなされている。上記部会が細かな分析・評価を実施し世に示す以前に、やはり、まずは政策担当部署において、元の財政検証システムを用いて、毎年度決算或いは財政検証の度に、できるだけきめ細かく年金財政の変動要因を分析し世に示していくよう努力していくことが必要ではないだろうか。

平成16年改正財政フレームの導入により、我が国の公的年金制度において財政問題は一定の決着をみた、との論調が近年は強い。年金財政が悪化すれば、マクロ経済スライドの調整期間を引き延ばし、給付を引き下げていけば済むからである。しかしながら、厚生年金の所得代替率50%以上維持との両立や基礎年金水準の低下への対応といった課題から、実績に基づく年金財政の悪化が続くようであれば、再び年金制度の財政問題を引き起こす可能性をはらんでいる。年金数理部会には、今後ともこのような警鐘をいち早く鳴らす役割が求められている、と筆者は考えている。

(参考資料1) 平成21年財政検証財政見通し

厚生年金の財政見通し

前提：出生中位・死亡中位－経済中位(基本ケース)

【参考事項】 最終保険料率 18.3%
 国庫負担の前提 平成21年度 2分の1完成
 スライド調整期間(終了年度) 2038年度
 所得代替率(終了年度時点) 50.1%

年度 (西暦)	保険料率 %	収 入					支 出				収支差引残	年度末積立金	積立度合	
		収入合計	保険料収入	国庫負担	運用収入	その他収入	支出合計	給付費	基礎年金拠出金	その他支出				
		兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円
2008	15.350	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	145.3	-
2009	15.704	34.9	23.8	7.2	2.1	1.7	35.8	22.6	13.1	0.1	-0.9	144.4	4.1	
2010	16.058	35.0	24.7	7.4	2.5	0.4	36.7	23.1	13.5	0.1	-1.7	142.6	3.9	
2011	16.412	36.7	26.2	7.5	2.7	0.3	37.8	23.8	13.9	0.1	-1.1	141.6	3.8	
2012	16.766	38.5	27.6	7.8	2.8	0.3	39.2	24.7	14.4	0.1	-0.7	140.9	3.6	
2013	17.120	40.4	28.9	8.1	3.1	0.3	40.4	25.3	15.0	0.1	-0.1	140.8	3.5	
2014	17.474	42.5	30.3	8.4	3.6	0.3	41.3	25.5	15.7	0.1	1.2	142.0	3.4	
2015	17.828	44.8	31.7	8.7	4.1	0.2	42.6	26.2	16.3	0.1	2.1	144.2	3.3	
2016	18.182	47.3	33.2	9.0	4.9	0.2	43.8	26.8	16.9	0.1	3.5	147.6	3.3	
2017	18.300	49.1	34.4	9.1	5.4	0.2	44.4	27.0	17.3	0.1	4.8	152.4	3.3	
2018	18.300	50.6	35.3	9.2	5.9	0.2	44.9	27.2	17.6	0.1	5.7	158.2	3.4	
2019	18.300	51.9	36.1	9.3	6.3	0.2	45.2	27.2	17.8	0.1	6.8	164.9	3.5	
2020	18.300	53.3	36.9	9.4	6.8	0.2	45.7	27.5	18.1	0.1	7.6	172.5	3.6	
2021	18.300	54.4	37.6	9.5	7.1	0.2	46.4	27.9	18.3	0.1	8.1	180.6	3.7	
2022	18.300	55.7	38.5	9.6	7.4	0.2	46.9	28.2	18.5	0.1	8.8	189.3	3.9	
2023	18.300	56.9	39.3	9.7	7.8	0.2	47.4	28.5	18.8	0.1	9.6	198.9	4.0	
2024	18.300	58.2	40.1	9.8	8.2	0.1	48.1	28.9	19.0	0.1	10.1	209.0	4.1	
2025	18.300	59.5	40.8	9.9	8.6	0.1	48.6	29.2	19.2	0.1	10.9	219.9	4.3	
2026	18.300	60.8	41.6	10.0	9.1	0.1	49.0	29.4	19.5	0.1	11.8	231.7	4.5	
2027	18.300	62.1	42.4	10.1	9.6	0.1	49.7	29.9	19.7	0.1	12.4	244.0	4.7	
2028	18.300	63.4	43.1	10.2	10.1	0.1	50.4	30.4	19.9	0.1	13.0	257.0	4.8	
2029	18.300	64.8	43.8	10.3	10.6	0.1	51.4	31.0	20.2	0.1	13.4	270.4	5.0	
2030	18.300	66.1	44.5	10.4	11.1	0.1	52.3	31.7	20.5	0.1	13.8	284.2	5.2	
2031	18.300	67.4	45.1	10.6	11.7	0.1	53.2	32.3	20.8	0.1	14.2	298.4	5.3	
2032	18.300	68.6	45.6	10.7	12.3	0.1	54.3	33.0	21.2	0.1	14.5	312.7	5.5	
2033	18.300	69.9	46.1	10.9	12.8	0.1	55.6	34.0	21.6	0.1	14.2	327.0	5.6	
2034	18.300	71.1	46.5	11.1	13.4	0.1	57.1	35.0	22.0	0.1	14.1	341.0	5.7	
2035	18.300	72.3	47.0	11.3	14.0	0.0	58.5	36.0	22.4	0.1	13.8	354.8	5.8	
2036	18.300	73.5	47.4	11.5	14.5	0.0	60.0	37.0	22.8	0.1	13.5	368.3	5.9	
2037	18.300	74.7	47.8	11.7	15.1	0.0	61.5	38.1	23.3	0.1	13.1	381.4	6.0	
2038	18.300	75.9	48.3	12.0	15.6	0.0	63.4	39.3	24.0	0.1	12.5	394.0	6.0	
2039	18.300	77.2	48.7	12.4	16.1	0.0	65.4	40.5	24.8	0.1	11.9	405.8	6.0	
2040	18.300	78.5	49.1	12.8	16.5	0.0	67.3	41.6	25.5	0.1	11.2	417.1	6.0	
2041	18.300	79.8	49.5	13.2	17.0	0.0	69.1	42.7	26.3	0.1	10.7	427.8	6.0	
2042	18.300	81.0	50.1	13.5	17.4	0.0	70.7	43.7	27.0	0.1	10.3	438.1	6.0	
2043	18.300	82.2	50.5	13.8	17.8	0.0	72.3	44.6	27.6	0.1	9.9	447.9	6.1	
2044	18.300	83.4	51.0	14.2	18.2	0.0	73.9	45.5	28.3	0.1	9.5	457.4	6.1	
2045	18.300	84.5	51.5	14.5	18.6	0.0	75.4	46.4	28.9	0.1	9.2	466.6	6.1	
2046	18.300	85.7	52.0	14.7	18.9	0.0	76.8	47.2	29.5	0.1	8.9	475.5	6.1	
2047	18.300	86.8	52.5	15.0	19.3	0.0	78.2	48.1	30.1	0.1	8.6	484.1	6.1	
2048	18.300	88.0	53.0	15.3	19.6	0.0	79.8	49.0	30.7	0.1	8.2	492.4	6.1	
2049	18.300	89.2	53.5	15.7	19.9	0.0	81.3	49.9	31.3	0.1	7.9	500.2	6.0	
2050	18.300	90.4	54.1	16.0	20.2	0.0	82.9	50.9	31.9	0.1	7.5	507.7	6.0	
2051	18.300	91.5	54.7	16.3	20.5	0.0	84.4	51.8	32.5	0.1	7.1	514.8	6.0	
2052	18.300	92.7	55.3	16.6	20.8	0.0	85.9	52.7	33.1	0.1	6.8	521.5	6.0	
2053	18.300	93.8	55.9	16.9	21.1	0.0	87.4	53.6	33.7	0.1	6.4	527.9	6.0	
2054	18.300	95.0	56.4	17.1	21.3	0.0	88.9	54.5	34.3	0.1	6.1	534.0	5.9	
2055	18.300	96.1	57.0	17.4	21.6	0.0	90.3	55.4	34.8	0.1	5.7	539.7	5.9	
2056	18.300	97.1	57.6	17.7	21.8	0.0	91.7	56.2	35.4	0.1	5.4	545.2	5.9	
2057	18.300	98.2	58.2	18.0	22.0	0.0	93.1	57.1	35.9	0.1	5.1	550.2	5.9	
2058	18.300	99.2	58.7	18.2	22.2	0.0	94.6	58.0	36.5	0.1	4.6	554.8	5.8	
2059	18.300	100.2	59.3	18.5	22.4	0.0	96.1	58.9	37.1	0.1	4.1	559.0	5.8	
2060	18.300	101.2	59.8	18.8	22.5	0.0	97.6	59.9	37.6	0.1	3.6	562.5	5.7	
2061	18.300	102.2	60.4	19.1	22.7	0.0	99.1	60.8	38.2	0.1	3.0	565.6	5.7	
2062	18.300	103.1	60.9	19.4	22.8	0.0	100.7	61.8	38.8	0.1	2.4	568.0	5.6	
2063	18.300	104.0	61.4	19.7	22.9	0.0	102.3	62.8	39.4	0.1	1.7	569.7	5.6	
2064	18.300	104.9	61.9	20.0	22.9	0.0	103.9	63.7	40.0	0.1	1.0	570.7	5.5	
2065	18.300	105.7	62.5	20.3	22.9	0.0	105.4	64.7	40.6	0.1	0.3	570.9	5.4	
2066	18.300	106.5	63.0	20.6	22.9	0.0	107.0	65.7	41.2	0.1	-0.5	570.4	5.3	
2067	18.300	107.3	63.5	20.9	22.9	0.0	108.6	66.7	41.8	0.1	-1.3	569.2	5.3	
2068	18.300	108.1	64.1	21.2	22.8	0.0	110.0	67.6	42.3	0.1	-2.0	567.2	5.2	
2069	18.300	108.8	64.6	21.4	22.7	0.0	111.5	68.5	42.9	0.1	-2.6	564.6	5.1	
2070	18.300	109.6	65.2	21.7	22.6	0.0	112.8	69.3	43.4	0.1	-3.3	561.3	5.0	
2071	18.300	110.3	65.8	22.0	22.5	0.0	114.2	70.1	43.9	0.1	-3.9	557.4	4.9	
2072	18.300	111.0	66.5	22.2	22.3	0.0	115.5	70.9	44.4	0.1	-4.5	553.0	4.8	
2073	18.300	111.7	67.1	22.4	22.1	0.0	116.7	71.6	44.9	0.1	-5.0	548.0	4.7	
2074	18.300	112.4	67.8	22.7	21.9	0.0	117.8	72.3	45.3	0.1	-5.4	542.6	4.6	
2075	18.300	113.1	68.5	22.9	21.7	0.0	118.9	73.0	45.8	0.1	-5.8	536.8	4.7	
2076	18.300	113.8	69.2	23.1	21.4	0.0	120.0	73.7	46.2	0.1	-6.2	530.6	4.5	
2077	18.300	114.5	70.0	23.3	21.2	0.0	121.0	74.3	46.6	0.1	-6.5	524.1	4.4	
2078	18.300	115.2	70.8	23.5	20.9	0.0	122.1	75.0	47.0	0.1	-6.9	517.2	4.3	
2079	18.300	115.9	71.6	23.7	20.6	0.0	123.1	75.6	47.4	0.1	-7.2	510.0	4.2	
2080	18.300	116.7	72.4	23.9	20.3	0.0	124.2	76.2	47.8	0.1	-7.5	502.5	4.1	
2081	18.300	117.4	73.2	24.1	20.0	0.0	125.2	76.9	48.2	0.1	-7.8	494.7	4.0	
2082	18.300	118.1	74.1	24.3	19.7	0.0	126.3	77.5	48.7	0.1	-8.2	486.5	3.9	
2083	18.300	118.9	74.9	24.5	19.4	0.0	127.4	78.2	49.1	0.1	-8.5	477.9	3.8	
2084	18.300	119.6	75.8	24.8	19.0	0.0	128.5	78.9	49.5	0.1	-8.9	469.1	3.7	
2085	18.300	120.3	76.7	25.0	18.7	0.0	129.6	79.6	49.9	0.1	-9.3	459.8	3.6	
2086	18.300	121.1	77.6	25.2	18.3	0.0	130.8	80.3	50.4	0.1	-9.7	450.1	3.5	
2087	18.300	121.8	78.5	25.4	17.9	0.0	131.9	81.0	50.8	0.1	-10.1	439.9	3.4	
2088	18.300	122.5	79.4	25.7	17.5	0.0	133.1	81.7	51.3	0.1	-10.6	429.3	3.3	
2089	18.300	123.2	80.3	25.9	17.0	0.0	134.4	82.5	51.8	0.1	-11.2	418.1	3.2	
2090	18.300	123.9	81.2	26.1	16.6	0.0	135.6	83.2	52.3	0.1	-11.7	406.4	3.1	
2091	18.300	124.5	82.1	26.4	16.1	0.0	136.9	84.0	52.8	0.1	-12.4	394.0	3.0	
2092	18.300	125.2	83.0	26.6	15.6	0.0	138.2	84.9	53.3	0.1	-13.0	381.0	2.9	
2093	18.300	125.8	83.9	26.9	15.0	0.0	139.6	85.7	53.8	0.1	-13.8	367.2	2.7	
2094	18.300	126.5	84.8	27.2	14.5	0.0	141.0	86.6	54.3	0.1	-14.5	352.7	2.6	
2095	18.300	127.1	85.8	27.4	13.9	0.0	142.4	87.4						

(参考資料2) 平成21年財政検証経済前提

厚生年金(基本ケース)

年度	経済中位		
	物価上昇率	賃金上昇率	運用利回り
	%	%	%
2009	-0.4	0.1	1.5
2010	0.2	3.4	1.8
2011	1.4	2.7	1.9
2012	1.5	2.8	2.0
2013	1.8	2.6	2.2
2014	2.2	2.7	2.6
2015	2.5	2.8	2.9
2016	1.0	2.5	3.4
2017	1.0	2.5	3.6
2018	1.0	2.5	3.9
2019	1.0	2.5	4.0
2020以降	1.0	2.5	4.1

出所：厚生労働省ホームページ

(参考資料3) 平成25年度までの実績を参考資料1に反映した場合の財政見通し

厚生年金(基本ケース)

年度 (西暦)	収 入					支 出				収支差引残	年度末積立金	積立度合
	収入合計	保険料収入	国庫負担	運用収入	その他収入	支出合計	給付費	基礎年金拠出金	その他支出			
2009	兆円 40.2	兆円 23.0	兆円 7.8	兆円 7.5	兆円 1.8	兆円 38.1	兆円 23.1	兆円 14.8	兆円 0.1	兆円 2.1	兆円 148.7	3.9
2010	31.3	23.5	8.4	-1.1	0.6	39.4	23.3	16.0	0.1	-8.1	140.7	3.8
2011	36.8	24.2	8.5	3.7	0.4	38.9	22.9	15.9	0.1	-2.0	138.7	3.6
2012	43.9	24.9	8.1	10.5	0.4	38.6	23.7	14.8	0.1	5.3	144.1	3.6
2013	44.8	25.8	8.3	10.4	0.4	39.2	24.1	15.0	0.1	5.6	149.7	3.7
2014	39.7	27.0	8.6	3.8	0.3	40.0	24.3	15.6	0.1	-0.3	149.4	3.7
2015	41.8	28.3	8.9	4.3	0.2	41.4	25.0	16.3	0.1	0.4	149.8	3.6
2016	44.1	29.6	9.2	5.0	0.2	42.5	25.5	16.9	0.1	1.6	151.4	3.5
2017	45.7	30.7	9.4	5.4	0.2	43.1	25.7	17.3	0.1	2.6	154.0	3.5
2018	47.2	31.5	9.5	6.0	0.2	43.6	25.9	17.6	0.1	3.6	157.6	3.5
2019	48.3	32.2	9.6	6.3	0.2	43.9	26.0	17.8	0.1	4.4	161.9	3.6
2020	49.4	32.9	9.7	6.6	0.2	44.4	26.2	18.1	0.1	5.0	166.9	3.6
2021	50.4	33.6	9.8	6.8	0.2	45.1	26.7	18.3	0.1	5.3	172.2	3.7
2022	51.4	34.3	9.9	7.0	0.2	45.6	27.0	18.5	0.1	5.8	178.0	3.8
2023	52.4	35.0	10.0	7.3	0.2	46.1	27.2	18.7	0.1	6.4	184.4	3.9
2024	53.5	35.7	10.1	7.5	0.1	46.8	27.7	19.0	0.1	6.7	191.1	3.9
2025	54.6	36.4	10.2	7.8	0.1	47.3	27.9	19.2	0.1	7.3	198.4	4.0
2026	55.6	37.1	10.3	8.1	0.1	47.7	28.2	19.4	0.1	7.9	206.3	4.2
2027	56.7	37.8	10.4	8.5	0.1	48.4	28.7	19.7	0.1	8.3	214.6	4.3
2028	57.8	38.4	10.5	8.8	0.1	49.1	29.1	19.9	0.1	8.7	223.2	4.4
2029	58.9	39.1	10.6	9.1	0.1	50.0	29.7	20.2	0.1	8.9	232.1	4.5
2030	60.0	39.7	10.7	9.5	0.1	51.0	30.4	20.5	0.1	9.0	241.1	4.6
2031	61.0	40.2	10.9	9.9	0.1	51.9	30.9	20.8	0.1	9.1	250.2	4.6
2032	62.0	40.7	11.0	10.2	0.1	52.9	31.7	21.1	0.1	9.1	259.3	4.7
2033	63.0	41.1	11.2	10.6	0.1	54.2	32.6	21.5	0.1	8.7	268.0	4.8
2034	63.9	41.5	11.4	10.9	0.1	55.6	33.6	22.0	0.1	8.3	276.3	4.8
2035	64.8	41.9	11.6	11.3	0.0	57.0	34.5	22.4	0.1	7.8	284.1	4.8
2036	65.7	42.3	11.8	11.6	0.0	58.5	35.6	22.8	0.1	7.2	291.4	4.9
2037	66.6	42.7	12.1	11.8	0.0	60.0	36.6	23.3	0.1	6.6	297.9	4.9
2038	67.6	43.0	12.4	12.1	0.0	61.8	37.8	23.9	0.1	5.7	303.7	4.8
2039	68.6	43.4	12.8	12.3	0.0	63.8	38.9	24.7	0.1	4.8	308.4	4.8
2040	69.5	43.8	13.2	12.5	0.0	65.7	40.1	25.5	0.1	3.9	312.3	4.7
2041	70.4	44.2	13.6	12.6	0.0	67.4	41.1	26.2	0.1	3.0	315.3	4.6
2042	71.3	44.6	13.9	12.7	0.0	69.1	42.0	26.9	0.1	2.3	317.6	4.6
2043	72.1	45.1	14.2	12.8	0.0	70.7	43.0	27.6	0.1	1.5	319.1	4.5
2044	72.9	45.5	14.6	12.8	0.0	72.2	43.9	28.2	0.1	0.7	319.8	4.4
2045	73.7	45.9	14.9	12.9	0.0	73.7	44.7	28.8	0.1	0.0	319.8	4.3
2046	74.4	46.4	15.2	12.8	0.0	75.1	45.5	29.4	0.1	-0.7	319.2	4.3
2047	75.1	46.8	15.5	12.8	0.0	76.5	46.4	30.0	0.1	-1.4	317.8	4.2
2048	75.8	47.3	15.8	12.7	0.0	78.0	47.3	30.6	0.1	-2.2	315.6	4.1
2049	76.5	47.8	16.1	12.6	0.0	79.6	48.2	31.3	0.1	-3.0	312.6	4.0
2050	77.2	48.3	16.4	12.5	0.0	81.1	49.1	31.9	0.1	-3.9	308.7	3.9
2051	77.9	48.8	16.7	12.3	0.0	82.6	50.0	32.5	0.1	-4.8	303.9	3.7
2052	78.5	49.3	17.1	12.1	0.0	84.1	50.9	33.1	0.1	-5.6	298.2	3.6
2053	79.1	49.8	17.4	11.9	0.0	85.6	51.8	33.7	0.1	-6.5	291.7	3.5
2054	79.6	50.3	17.7	11.6	0.0	87.1	52.7	34.2	0.1	-7.5	284.2	3.3
2055	80.1	50.9	17.9	11.3	0.0	88.5	53.6	34.8	0.1	-8.4	275.8	3.2
2056	80.5	51.4	18.2	10.9	0.0	89.9	54.4	35.3	0.1	-9.3	266.5	3.1
2057	80.9	51.9	18.5	10.5	0.0	91.3	55.3	35.9	0.1	-10.4	256.1	2.9
2058	81.2	52.4	18.8	10.1	0.0	92.7	56.2	36.4	0.1	-11.5	244.6	2.8
2059	81.5	52.9	19.1	9.6	0.0	94.2	57.1	37.0	0.1	-12.7	232.0	2.6
2060	81.8	53.4	19.4	9.0	0.0	95.7	58.0	37.6	0.1	-13.9	218.0	2.4
2061	82.0	53.9	19.7	8.5	0.0	97.2	58.9	38.2	0.1	-15.2	202.8	2.2
2062	82.1	54.3	20.0	7.8	0.0	98.7	59.9	38.7	0.1	-16.6	186.2	2.1
2063	82.2	54.8	20.3	7.1	0.0	100.3	60.8	39.3	0.1	-18.1	168.2	1.9
2064	82.2	55.2	20.6	6.4	0.0	101.8	61.8	39.9	0.1	-19.6	148.5	1.7
2065	82.2	55.7	20.9	5.5	0.0	103.4	62.7	40.5	0.1	-21.2	127.3	1.4
2066	82.0	56.2	21.2	4.7	0.0	104.9	63.7	41.1	0.1	-22.9	104.4	1.2
2067	81.9	56.7	21.5	3.7	0.0	106.4	64.6	41.7	0.1	-24.6	79.9	1.0
2068	81.6	57.1	21.8	2.7	0.0	107.9	65.5	42.3	0.1	-26.3	53.6	0.7
2069	81.3	57.7	22.1	1.6	0.0	109.3	66.3	42.8	0.1	-28.0	25.7	0.5
2070	81.0	58.2	22.3	0.4	0.0	110.6	67.2	43.4	0.1	-29.7	-4.0	0.2
2071	80.5	58.7	22.6	-0.8	0.0	111.9	67.9	43.9	0.1	-31.4	-35.4	0.0
2072	80.1	59.3	22.9	-2.1	0.0	113.2	68.7	44.4	0.1	-33.1	-68.5	-0.3
2073	79.5	59.9	23.1	-3.4	0.0	114.4	69.4	44.8	0.1	-34.8	-103.3	-0.6
2074	78.9	60.5	23.3	-4.9	0.0	115.5	70.1	45.3	0.1	-36.5	-139.9	-0.9
2075	78.3	61.1	23.6	-6.4	0.0	116.6	70.7	45.7	0.1	-38.3	-178.2	-1.2
2076	77.6	61.8	23.8	-8.0	0.0	117.6	71.4	46.1	0.1	-40.0	-218.2	-1.5
2077	76.8	62.4	24.0	-9.6	0.0	118.7	72.0	46.5	0.1	-41.8	-260.0	-1.8
2078	76.0	63.1	24.2	-11.3	0.0	119.7	72.6	47.0	0.1	-43.7	-303.7	-2.2
2079	75.1	63.8	24.4	-13.1	0.0	120.7	73.2	47.4	0.1	-45.6	-349.3	-2.5
2080	74.2	64.6	24.6	-15.0	0.0	121.8	73.9	47.8	0.1	-47.5	-396.8	-2.9
2081	73.2	65.3	24.8	-16.9	0.0	122.8	74.5	48.2	0.1	-49.6	-446.4	-3.2
2082	72.2	66.1	25.0	-19.0	0.0	123.8	75.1	48.6	0.1	-51.7	-498.1	-3.6
2083	71.0	66.8	25.3	-21.1	0.0	124.9	75.8	49.0	0.1	-53.9	-552.0	-4.0
2084	69.8	67.6	25.5	-23.3	0.0	126.0	76.4	49.4	0.1	-56.2	-608.1	-4.4
2085	68.5	68.4	25.7	-25.6	0.0	127.1	77.1	49.9	0.1	-58.6	-666.7	-4.8
2086	67.1	69.2	25.9	-28.0	0.0	128.2	77.8	50.3	0.1	-61.1	-727.8	-5.2
2087	65.6	70.0	26.2	-30.5	0.0	129.3	78.5	50.8	0.1	-63.7	-791.5	-5.6
2088	64.1	70.8	26.4	-33.1	0.0	130.5	79.2	51.2	0.1	-66.4	-857.9	-6.1
2089	62.4	71.6	26.7	-35.9	0.0	131.7	79.9	51.7	0.1	-69.3	-927.3	-6.5
2090	60.6	72.4	26.9	-38.7	0.0	133.0	80.7	52.2	0.1	-72.4	-999.6	-7.0
2091	58.7	73.2	27.2	-41.7	0.0	134.2	81.4	52.7	0.1	-75.5	-1075.2	-7.4
2092	56.7	74.0	27.4	-44.8	0.0	135.5	82.2	53.2	0.1	-78.9	-1154.0	-7.9
2093	54.5	74.8	27.7	-48.0	0.0	136.9	83.0	53.7	0.1	-82.4	-1236.4	-8.4
2094	52.2	75.7	28.0	-51.4	0.0	138.2	83.9	54.3	0.1	-86.0	-1322.4	-8.9
2095	49.8	76.5	28.2	-54.9	0.0	139.6	84.7	54.8	0.1	-89.8	-1412.2	-9.5
2096	47.3	77.4	28.5	-58.6	0.0	141.1	85.6	55.4	0.1	-93.8	-1505.9	-10.0
2097	44.6	78.2	28.8	-62.5	0.0	142.5	86.4	55.9	0.1	-97.9	-1603.9	-10.6
2098	41.7	79.1	29.1	-66.5	0.0	143						

(参考資料4) 平成21年財政検証における将来見通しと実績との比較

厚生年金(基本ケース)

将来見通し

平成	収入					支出				収支残	年度末 積立金	被保険 者数	物価 上昇率	賃金 上昇率	運用 利回り
	計	保険料	国庫 負担	運用 収入	その他	計	給付費	基礎年金 拠出金	その他						
	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	百万人	%	%	%
21年度	34.9	23.8	7.2	2.1	1.7	35.8	22.6	13.1	0.1	-0.9	144.4	34.4	-0.4	0.1	1.5
22年度	35.0	24.7	7.4	2.5	0.4	36.7	23.1	13.5	0.1	-1.7	142.6	34.5	0.2	3.4	1.8
23年度	36.7	26.2	7.5	2.7	0.3	37.8	23.8	13.9	0.1	-1.1	141.6	34.8	1.4	2.7	1.9
24年度	38.5	27.6	7.8	2.8	0.3	39.2	24.7	14.4	0.1	-0.7	140.9	34.8	1.5	2.8	2.0
25年度	40.4	28.9	8.1	3.1	0.3	40.4	25.3	15.0	0.1	-0.1	140.8	34.7	1.8	2.6	2.2

実績

平成	収入					支出				収支残	年度末 積立金	被保険 者数	物価 上昇率	賃金 上昇率	運用 利回り
	計	保険料	国庫 負担	運用 収入	その他	計	給付費	基礎年金 拠出金	その他						
	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	百万人	%	%	%
21年度	40.2	23.0	7.8	7.5	1.8	38.1	23.1	14.8	0.1	2.1	148.7	34.6	-1.4	-4.06	7.54
22年度	31.3	23.5	8.4	-1.1	0.6	39.4	23.3	16.0	0.1	-8.1	140.7	34.7	-0.7	0.68	-0.26
23年度	36.8	24.2	8.5	3.7	0.4	38.9	22.9	15.9	0.1	-2.0	138.7	34.8	-0.3	-0.21	2.17
24年度	43.9	24.9	8.1	10.5	0.4	38.6	23.7	14.8	0.1	5.3	144.1	35.0	0.0	0.21	9.57
25年度	44.8	25.8	8.3	10.4	0.4	39.2	24.1	15.0	0.1	5.6	149.7	35.4	0.4	0.13	8.22

注1. 収支及び積立金は将来見通しと比較可能となるよう補正した実績推計(時価ベース)による。(ただし、収入のその他は実績推計の収入のその他から国庫負担を減じた額である。)

2. 被保険者数は年度間平均である。
3. 賃金上昇率は性・年齢構成の変動による影響を控除した標準報酬上昇率である。
4. 運用利回りは時価ベースである。

実績-将来見通し

平成	収入					支出				収支残	年度末 積立金	被保険 者数	物価 上昇率	賃金 上昇率	運用 利回り
	計	保険料	国庫 負担	運用 収入	その他	計	給付費	基礎年金 拠出金	その他						
	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	兆円	百万人	%	%	%
21年度	5.3	-0.8	0.6	5.4	0.1	2.3	0.5	1.7	0.0	3.0	4.3	0.2	-1.0	-4.16	6.04
22年度	-3.7	-1.2	1.1	-3.6	0.2	2.7	0.2	2.5	0.0	-6.4	-1.9	0.1	-0.9	-2.72	-2.06
23年度	0.1	-2.0	1.0	1.0	0.1	1.1	-0.9	2.0	0.0	-0.9	-2.9	0.0	-1.7	-2.91	0.27
24年度	5.4	-2.7	0.3	7.7	0.2	-0.6	-1.0	0.4	0.0	6.0	3.2	0.2	-1.5	-2.59	7.57
25年度	4.4	-3.1	0.2	7.3	0.1	-1.2	-1.2	0.0	0.0	5.7	8.9	0.6	-1.4	-2.47	6.02

出所：社会保障審議会年金数理部会「公的年金財政状況報告」(平成21~25年度版)

(ただし「実績」の「収入」の「その他」及び「実績-将来見通し」は筆者による単純計算)